



会より さくら だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人とが互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第56号 2020年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://www.sakurakai.jp/>

特集 できることを皆で



秋も深まって参りましたが、ご利用者、ご家族の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？
今年初めに、国内で新型コロナウイルスの感染者のニュースが開始、その後感染拡大に伴う自粛など南大井在宅サービスセンターも感染予防対応に追われる日々でした。
特に一般介護予防事業は3月から休止となり、ようやく7月に入り事業を再開した次第です。感染症が終息するまで不安な日々が続きますが、「明るく前向きに、出来ることから始めよう」を合言葉に、職員一同取り組みました。
まずは、送迎の乗車前検温にはじまり、来所時に再度検温と健康状態の確認をしております。



飛沫防止のパーティション設置!!



夏祭りの様子

また、フロア環境に配慮し、テーブルの間隔をあけること、各テーブルには飛沫防止のパーティションを設置し、換気のため空調管理を徹底しました。少しものしいかもしれませんが、ご利用者が安心してサービスを受けられるよう最善を尽くしております。
いらして頂いた時間が充実したものとなるよう「夏祭り」を



看護師による朝の健康の確認

開催しました。季節感を味わっていただく射的ゲームや浴衣姿の職員による盆踊り等、工夫を凝らし、ご利用者の皆様楽しんでいただきました。
いつまで新型コロナウイルス感染予防対策を継続するか分かりませんが、対策を十分とつたうえで、ご利用者の皆様には今まで以上にケアセンター南大井通所リハビリ、南大井在宅サービスセンターを楽しんでいただけるように努めて参ります。

1

感染予防対策を踏まえて

ケアセンター南大井通所リハビリ
南大井在宅サービスセンター



2

新しい生活様式での活動

品川区立大井林町高齢者住宅

品川区立大井林町高齢者住宅では、品川区と感染対策を確認し、7月1日より一部の活動(朝の体操、習字、囲碁、将棋、映画会)を再開しました。憩いの場大井林町では、活動前に非接触型体温計で検温し、手指消毒をしています。マスクを着用し、換気をして、人と人の距離をとりながら活動しています。

人と人の距離をとって体操します



各階ラウンジに消毒用備品と換気用の扇風機を設置しました

毎日実施している朝の体操は、再開当初はマスクをしながらの運動が苦しく感じることもありましたが、少しずつ慣れてきて、気持ちよく体を動かせるようになりました。活動後は使用した物品を消毒しています。

各階のラウンジには、換気用に扇風機を設置し、ソファやテーブルの消毒用に備品を設置しています。ご入居の皆様が安心して活動できるよう、感染症対策を今後も行っていきます。



非接触型体温計で測定します

3

ICT機器の活用

介護老人保健施設ケアセンター南大井

介護業界においては、今後の高齢化を見据えて、介護ロボットの普及が進んでいます。ケアセンター南大井でも、昨年度より『眠りスキャン』と『パルロ』を導入しました。

『眠りスキャン』は、ベッドの下に機器を敷くことで、その方の睡眠状況などをグラフで知ることが出来ます。夜中、しっかりと眠れているかの判断や、トイレに行く時間帯の把握などに活用でき、睡眠導入剤など投薬の効果の検討や、昼夜逆転傾向がある方の生活リズムの改善に役立っています。

『パルロ』は、コミュニケーションロボットとして、会話を楽しんだり、歌をうたったり、コロナ禍でもレクリエーションで活躍しています。

愛くるしいキャラクターでご利用者の楽しみを創り出してくれるだけでなく、『パルロ』がレクリエーションを行っている間に、職員が柔軟に動けるよう補助する存在となっています。

今後も、ICT機器を活用しながら、安全で安心なケア、より質の高いケアを目指していきたいと思えます。



パルロとレクリエーション中の様子

眠りSCAN設置



4

品川音頭を踊ろう！

介護老人保健施設ケアセンター南大井

昨今のコロナ禍の影響で、ご利用者は外出どころか、ご家族と直接面会すらできず、窮屈な思いをしながら一日を施設の中で過ごしていらっしゃる方が多くなりました。

そこでフロアでご利用者が楽しめることはないかと考えた結果、今夏、中止となった地域の盆踊りを皆で踊って盛り上げよう！ということになりました。

ご利用者には、盆踊りの数日前から団扇に「品川音頭」の歌詞カードを貼り付けていただき、当日を楽しみに待っていただきました。



い、自分たちで作った団扇を持ちながら、ご利用者も職員も輪になって「品川音頭」を踊りました。

最初は踊れなかったご利用者も、踊りを教えてもらい、最後には輪の中に入り、楽しそうに踊っていました。ご利用者だけでなく、職員も久しぶりに笑顔が多いひと時を過ごしました。

5

訪問状況について

新型コロナウイルス感染に注意しながら

訪問介護 さくら会ヘルパーステーション

さくら会ヘルパーステーションは、主に南大井と東大井にお住まいになられている要介護等の高齢者の自宅に訪問して、生活上の支援を行う訪問介護事業所です。日々、管理者やサービス提供責任者がリーダーシップを発揮しながら、要介護等の高齢者の生活を支えるため、訪問介護員一人ひとりが奮闘しております。

さて、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症が日本国内でも、拡大を見せるなか、まずは、訪問介護員自身が感染することのないように日常生活を送りつつ、高齢者のお宅に訪問する際は、ウイルスを持ち込まないように、あるいは自らがウイルスを運ばないように、細心の注意を払いながら、訪問を継続しております。具体的には、

- ① マスクの着用
- ② 手洗い・手指の消毒・使い捨て手袋の着用
- ③ 予防衣・フェイスシールドの着用
- ④ 訪問先での換気・Keep Distance などなどです。



訪問介護は、ご利用される高齢者の自宅に提供されるサービスなので、通所介護などのサービスと比べて、他者からの感染の危険性が比較的小さいと考えられることから、社会的にも、サービス提供の継続が求められるサービスです。

今後、訪問介護員一人ひとりが、高齢者を支援するお仕事に従事していることを自覚しつつ、サービスを提供してまいります。



フレイルとは？

南大井訪問看護ステーション

新型コロナウイルスの収束が見えない日が続いていますが、感染を不安に思うあまり外出を極端に控えてしまうと運動不足や孤立状態に陥り、「フレイル」を誘発しかねません。

☆「フレイル」とは？

「虚弱」を意味し、健康な状態から要介護へ移行する中間の段階とされています。

活動量が低下すると空腹になりづらく、食事や水分摂取量も減り低栄養を招きます。

これは行動意欲や認知機能の低下に繋がり、要介護状態に近づいていくことにもなるのです。



☆フレイルの進行を予防するポイント

- ①座っている時間を減らし、ラジオ体操や散歩等を取り入れ活動量を増やす
- ②バランスの良い食事（少量ずつでも多様な食品）や、たんぱく質を多く含む肉や魚を摂り低栄養を防ぐ
- ③口腔機能や嚥下機能が低下しないよう、歯磨きや義歯の洗浄で口の中の清潔を保ち、嚥下体操（パタパタ体操等）を行う
- ④孤立を防ぐため、電話等で家族や友人との交流の機会を設ける

感染の拡大を防ぎつつフレイルにならないよう、適度な運動や人との交流を意識しながら生活していきましょう。

品川区立月見橋在宅サービスセンター

橋本 剛

新所長就任



この度、品川区立月見橋在宅サービスセンターの所長として就任いたしました。橋本剛と申します。宜しくお願い致します。さくら会で20歳から働き始め、20年が経過しました。見た目も含めて、すっかり古狸と化しております。目下、減量中です。

勤め始めた当初より、認知症への偏見をなくすことが、私の仕事のテーマでもありました。職場で多くのご利用者、ご家族の皆様と出会い、教わり、育てられ、ひとつの到着点として平成29年に職場で働く仲間達の協力も受けながら、東京都認知症介護指導者を取得いたしました。実は品川にも5人しかいないレアなキャラクターです。学び得たことを活かしながら認知症の人や、そのご家族と共に、最後まで一緒に考え、歩き続けられる存在でありたいと考えております。ちなみに認知症の方との関りを知るための「紙芝居」も読むことができます。聞いてみたい方はいつでも月見橋に遊びにいらしてください。

連載No.15

……専門職に聞く……

ケアセンター南大井通所リハビリ

理学療法士 大底 善太

Q1：仕事の内容

さくら会では「その人らしく」暮らすための自立支援をおこなっています。その中でもリハビリでは、弱くなってきた部分を運動で鍛えなおしたり、ご自宅で安全に暮らすための手すりや歩行器といった福祉用具の提案をおこなっています。

Q2：専門職として心掛けていること

ご自身で出来る事はご自身でおこなっていただく、ということです。日々の何気ない動作も健康に繋がっています。さくら会で動くことに自信をつけて頂き、ご自宅で活動する時間が増えることが大切だと考えています。

Q3：ご利用者、読者に向けてメッセージ

さくら会で働き始めて6年目になり、他の職員やご利用者の方に助けられて仕事を続けられていると強く感じるようになりました。まだまだ未熟ものですが、これからもよろしくお願います。



次回1月号は「看護職」小林直美さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和3年1月です。